

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23428
事業名	精神科救急医療体制整備費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 精神保健福祉セ			電話番号	011-622-5190
施策名	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	平成16年度からトリアージ機能(救急医療の必要性の判断)を充実し、円滑な精神科救急医療の推進のため、精神科救急情報センターを設置。25年度より本市を含む精神科救急医療圏域が2分割され、病院群輪番2体制が開始。翌年度よりかかりつけ医の自院通院患者に対する役割促進、精神科救急における診療情報の速やかな確保等を目的とした「こころの安心カード」を導入。
	事業内容(何を実施し)	【目的】急性期の精神症状を呈する方に対する早期の適正な医療及び保護を目的とする。重層的な救急医療体制の安定的な充実を図る。 【内容】精神科救急医療に係る相談を受け、適切な処遇へ振り分ける。①精神科救急情報センター:精神科救急に係るトリアージ(補助金対象) ②電話等による精神医療相談及び移送(補助金対象) ③電話等による精神医療相談 ④病院群輪番2体制の安定的維持 ⑤精神科等通院患者が自身の診療情報等を記載して携帯することのできる「こころの安心カード」の普及啓発
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	現在の重層的な精神科救急医療体制(病院群輪番2体制)の安定的維持及び精神科救急情報センターの円滑な運営
	他都市の状況	精神科救急情報センターについては、精神科救急医療体制整備事業の実施主体である都道府県と政令市の共同実施により、すべての都道府県で整備されている。 「こころの安心カード」については、都道府県・政令市としては全国初の取組みである。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	38,134 千円	うち特定財源	12,109 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度予算額	39,000 千円	うち特定財源	13,685 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度決算額	38,522 千円	うち特定財源	10,972 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和6年度予算額	39,000 千円	うち特定財源	13,620 千円	正規職員業務量	0.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	相談取扱件数(参考値)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		4569件	4000件	3886件	4000件	4000件	4000件
	↓						
	アウトカム成果指標1	相談取扱件数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		4569件	4000件	3886件	4000件	4000件	4000件
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	相談取扱件数については、令和5年度については4,000件を下回っている。理由についての正確な分析は難しいが、コロナ禍による受診控等により病状が悪化してから相談に繋がるケースが、5類移行後に減少した、また、緊急の受診を必要とする相談以外の相談が減少した等が考えられる。					
	アウトプット活動指標2	夜間・休日における一日当たりの当番病院空床確保数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2床	2床	2床	2床	2床	2床
	↓						
	アウトカム成果指標2	夜間・休日における一日当たりの当番病院空床確保数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2床	2床	2床	2床	2床	2床
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	精神科救急情報センターの職員体制の見直しによる運営の安定化
来年度以降の方向性	今後とも精神障がい者本人や家族の不安を早期に改善し、より適切な医療へつなげるよう関係機関との調整を図り、委託先法人と連携して当該事業の継続に努める。 現在の体制の安定的維持のため、輪番参加病院等との連携を図る。